

## 指定管理業務評価結果書

### 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	奥津川ラビンの里
(2) 指定管理者	所在地 津山市奥津川867番地 名 称 ラビンの里管理組合 代表者 組合長 森永 宏彰
(3) 公の施設の所管部署	農林部 農村整備課
(4) 指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
(5) 評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

### 2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト 利用人数 484人 (前年度 303人) 宿泊施設 利用人数 155人 (前年度 82人) バーベキューガーデン 利用人数 933人 (前年度 458人)
(2) 事業の内容	ラビンの里の施設利用許可・運営・管理

### 3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総 額 5,031千円 (前年度 4,582千円) 利用料金収入 831千円 指定管理料 4,160千円 自主事業収入 40千円 その他の収入 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総 額 5,031千円 (前年度 4,582千円) 人件費 2,996千円 光熱水費 623千円 修繕・消耗品費等 357千円 委託料 958千円 その他 97千円

### 4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	○ 利用者にアンケート用紙を渡して、評価・感想などを記入してもらっている。
(2) 指定管理者の自己評価	○ コロナウイルス感染予防対策の影響で利用者と売上げは減少していたが、ほぼ回復の傾向。 ○ 利用者が天候に左右されやすく、雨天の場合のキャンセルが多い。 ○ 施設の老朽化が目立つ。計画的に修繕を行っているが、今年度の積雪で優先される修繕箇所が増えた。 ○ イノシシ・シカ・サルが出没し、対策に苦慮している。特にシカの糞の被害が大変酷く、糞の片付けに時間を要し、営業に支障をきたしている。
(3) 市の評価	○ 行動制限の緩和されたことや積極的な広報活動等を行うことで利用件数、利用者数は昨年度より上昇し、コロナ渦以前並になっており評価できる。 ○ グループ利用が増え、1グループあたりの参加者数が増えるに傾向にあるので広報活動をさらに期待する。 ○ 施設の老朽化が顕著となっており、今年度は予想外の積雪により、雨どいの修繕等を行ったり、樹木の伐採を行ったりして施設保全に務めており、今後も継続的な努力に期待する。 ○ シカ等の被害については、連日糞害処理に時間を要しているが、施設管理者に駆除等の手段がなく根本的な解決が難しいが、対処をお願いしたい。